

寄贈図書リスト

- ①時間学の構築Ⅴ 宇宙と時間, 山口大学時間学研究所, B5判, 292ページ, 2,700円+税, 恒星社厚生閣
- ②天文力学講義, C.L. ジーゲル/J.K. モーザー, 伊藤

秀一/関口昌由 訳, A5判, 374ページ, 6,000円+税, 丸善出版

- ③宇宙の超難問 三体問題, マウリ・ヴァルトネン/ジョアンナ・アノソヴァほか 著, 谷川清隆 著・監修/田沢恭子 訳, 新書判, 360ページ, 1,360円+税, 早川書房

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し, 受領の連絡をいたします。

人事公募

大阪大学大学院理学研究科 教授

- 募集人員 (ポスト・人数など)
教授1名
- (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地
(1) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻
(2) 大阪大学豊中キャンパス
- 専門分野
宇宙地球科学 (地球惑星科学, アストロバイオロジー, 宇宙物理学, およびこれらの境界領域も含む)
- 職務内容・担当科目
新しい研究グループを主宰し, かつ専攻内の既存の研究グループと連携しながら, 物理学・地学・生物学などに基づき宇宙地球科学を推進する。学部/大学院教育および大学運営への積極的な貢献, 物理学科の学生指導, 全学の物理教育または地球科学教育を行う。
- (1) 着任時期, (2) 任期
(1) 2025年4月1日 (以降できるだけ早い日)
(2) なし
- 応募資格
着任時に, 博士の学位, あるいは同等以上の学

識を有する者

- 提出書類
 - 履歴書
 - 研究業績リスト (研究資金獲得業績も含む。主要論文3~5編をマーク)
 - これまでの研究内容 (A4で3頁程度)。
 - 研究・教育に関する今後の計画と抱負 (A4で3頁程度)
 - 意見を聞ける方3名程度の連絡先 (可能なら海外の研究機関所属の研究者を含める)
 - 主要論文の別刷 (業績リストにマークしたもの)
- 応募締切・受付期間
(日本時間にて) 2024年6月30日(日) 必着
- (1) 提出先, (2) 問合せ先
(1) 大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻専攻長宛
E-mail: application@ess.sci.osaka-u.ac.jp
(2) 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1
大学院理学研究科宇宙地球科学専攻 教授 松本浩典
電話: 06-6850-5477
E-mail: matumoto@ess.sci.osaka-u.ac.jp
- 応募上の注意
応募書類は1つのPDFファイルにまとめて, 電子メール等で送付してください。
電子メールで受領確認の返信をします。
メール送付時の件名は「宇宙地球科学教授公

募」とご記載ください。

書類審査を行ったのち、面接審査を行う場合があります。

面接審査の案内は書類審査通過者にのみ行います。

面接のための旅費及び宿泊費等は応募者の負担とします。

面接審査は必要に応じてオンラインで行うことも可能です。

11. その他（待遇など）

詳細は <https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/recruit/>

JAMSTEC リスタート支援公募

国立研究開発法人海洋研究開発機構では、昨年に続き、ダイバーシティ推進の一貫として、出産・育児などのライフイベントで研究活動を中断した優れた研究者・技術者等に対し、再スタートの機会を提供する「JAMSTEC リスタート支援公募」を行っております。

1. 募集人員：若干名
2. 勤務地：国立研究開発法人海洋研究開発機構以下の研究拠点のいずれか
 - ・横須賀本部 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
 - ・横浜研究所 神奈川県横浜市金沢区昭和町3173番25
 - ・むつ研究所 青森県むつ市大字関根字北関根690番地
 - ・高知コア研究所 高知県南国市物部乙200（高知大学物部キャンパス内）
3. 専門分野：自然科学・工学全般
4. 応募締切：2024年7月15日
5. 問合せ先：国立研究開発法人海洋研究開発機構
人事部人事任用課 採用担当
recruit-app@jamstec.go.jp

※お問い合わせの際は、件名を「JAMSTEC リスタート支援公募について」としてください。

詳細は募集要項をご確認ください。

<https://www.jamstec.go.jp/recruit/j/details/restart20240715>

研究助成

公益財団法人 宇宙科学振興会 2024 年度助成事業 2 件公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会は宇宙科学分野における学術振興を目指し、2024年度も引き続き下記の助成事業を行います。それぞれの応募要項の詳細は当財団のホームページ：<http://www.spss.or.jp> に掲載しています。それぞれの公募に対する応募申請に際してはホームページご参照の上、申請書をダウンロード・作成いただき必要な書類を添付の上、財団宛に電子メール（admin@spss.or.jp）で申請下さい。奮ってご応募いただくようご案内申し上げます。

(1) 国際学会出席旅費の支援

●支援対象

宇宙理学（飛翔体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）および宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者（当該年度4月2日で35歳以下）、またはシニアの研究者（当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者）で、国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者。海外で開催される国際学会に限りです。リモートでの参加の場合でも参加費（上限5万円）については支援します。

●助成金額・件数：一件あたり10～30万円程度、年間10件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2024年8月31日：2024年10月から2025年3月の期間に開催初日が予定される国際学会の参加者対象

応募締切り2025年2月28日：2025年4月から2025年9月の期間に開催初日が予定される国際学会の参加者対象

(2) 国際学会開催の支援

●支援対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体（研究所、大学等）で、宇宙理学（飛翔体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する国際学会、国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体。リモートでの開催も支援対象です。

●助成金額・件数：一件あたり20～50万円程度、年

間4件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2024年8月31日：2024年10月から2025年3月の期間に開催初日が予定される国際学会対象

応募締切り2025年2月28日：2025年4月から2025年9月の期間に開催初日が予定される国際学会対象

●照会先

公益財団法人宇宙科学振興会事務局

<http://www.spss.or.jp>

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

Email: admin@spss.or.jp

Tel: 042-751-1126 (火、木)

研究会・集会案内

「東京大学木曽観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所」特別公開のお知らせ

東京大学木曽観測所及び名古屋大学宇宙地球環境研究所を一般の皆様にご公開いたします。当日は望遠鏡や観測装置を間近に見ることができる他、10月に木曽観測所が50周年を迎えることを記念した展示や講演なども予定しております。1日目の夜には観望会も行いますので、ぜひご来場ください。

◆開催日時：

2024年8月3日(土)

* 13:00～18:00 望遠鏡デモンストレーション、研究紹介 など

* 15:00～16:00 講演会

中田 好一（東京大学 名誉教授）

『木曽観測所これまでの50年～昭和・平成・令和を駆け抜けて～』

* 19:00～21:00 天体観望会（雨天中止）

2024年8月4日(日)

* 10:00～16:00 望遠鏡デモンストレーション、研究紹介 など

* 14:00～15:00 講演会

酒向 重行（東京大学 天文学教育研究センター 准教授）

『木曽観測所これからの50年～105 cm シュミット望遠鏡とともに～』

◆開催場所：東京大学木曽観測所（長野県木曽郡木曽町三岳 10762-30）

◆交通：JR中央西線木曽福島駅または上松駅から車で約30分

・問い合わせ先：木曽観測所 TEL: 0264-52-3360

木曽観測所ホームページ：

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

名古屋大学宇宙地球環境研究所ホームページ：

<http://stsw1.isee.nagoya-u.ac.jp/>

※施設公開・講演会ともに事前申し込みは不要で、入場無料です。

※講演会はYouTubeでもライブ配信します。

賞の推薦

2024年度（第7回）日本天文遺産候補推薦のお願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学（以下、暦学も含む）的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のようなものになります。

- (1) 史跡・建造物：天文学上、重要であった地点や建築・建造物、観測施設など。
- (2) 物品：天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品、観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献：歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の管理者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員（正会員及び準会員）の方々からの候補の推薦を、広く募集します。推薦書の様式は、以下の日本天文学会のサイトからダウンロードすることができます。なお、連名で推薦される場合は、推薦者全員が日本天文学会の会員である必要はありません。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/designation/heritage/>

(日本天文学会/学会の活動/認定/日本天文遺産/推薦要領)

必要事項を記入の上、日本天文学会事務所(〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp)にお送りください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただけると幸いです。

2024年度の認定対象の発表と認定証授与式は、2025年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2024年8月31日までに学会事務所へ到着したものを有効とします(2023年度よりも締切が1か月早くなっていますので、ご注意ください)。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数の推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された史跡・事物については、2024年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

天文月報の表紙デザインは常時募集中です。毎年8月末日、一年間で集まった作品を対象に、次年度の表紙デザインを選考します。

応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けます。

2025年1月号～12月号の表紙を飾る表紙の応募は、2024年8月31日締め切りです。

『天文月報』2025年表紙デザイン募集概要

作品掲載期間：2024年12月発行の118巻1号～2025年11月発行の118巻12号

- ・表紙は題字(『天文月報』の文字)、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像および背景イラストから構成されます。
- ・題字とロゴマークは、原本のデータをダウンロード

してご使用ください。題字は元の文字が崩れない程度に、多少のアレンジをしても構いません。

題字：https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/geppou_title.jpg

ロゴマーク：https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/logo_J_black.eps

- ・すべての構成要素の配置を含めたデザインをお願いいたします。毎号異なる背景を12枚作成しても、1つの背景を使い、配色や画像・テキストの配置を変えるデザインでも構いません。毎号異なるデザインの場合、応募時点で12作品を作成しても、サンプルとして1～数作品を作成し、残りの号はコンセプトのみお送りいただいても、どちらでも構いません。
- ・具体例は過去の天文月報表紙をご覧ください。天文月報のホームページのバックナンバー
<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber/>

〈募集要項〉

- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式：不問
- ・雑誌のサイズ：B5判タテ(182ミリ×257ミリ)
- ・締切り：2024年8月末日
- ・送り先：天文月報投稿用アップローダー
https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/
ユーザー名：geppou パスワード：toukou
- ・表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプト(書式自由)をお送りください。

〈応募規定〉

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限りします。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、作品の著作権については以下のよう規定します。
*納品された表紙の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は日本天文学会に帰属します。
*表紙に使用したオリジナル原画の著作権(著作権法21条から26条の3に規定する権利)は日本天文学会に帰属します。
*著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する場合は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項

による採用作品の通知のためのみに使用します。

- ・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。
24万円／1年分

ご不明な点等ございましたら、ホームページお問い合わせフォーム「天文月報について」<https://www.asj.or.jp/jp/contact/> よりご連絡ください。

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名: asj2024

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と **vol117** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員: 津村耕司 (委員長), 岩崎一成, 小野寺仁人, 勝田哲, 川中宣太, 西澤淳, 仏坂健太, 岡本文典,

日下部展彦, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 烏海森, 信川久美子, 橋本拓也, 宮本祐介

令和6年6月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2024年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)